



O's News



一次脳卒中センター(PSC)コア施設について

脳卒中センター長 茶谷 めぐみ

脳卒中は「専門性」と「時間との闘い」の2つの面を両立させる形で対応しなければならない疾患です。医療が高度化するに従って、住む地域によって対応できる医療レベルが大きく違ってくるようになりました。発症直後の迅速な治療が転帰改善の鍵となり、どこに住んでいても同じような治療を受けることができるような診療が望ましく、日本脳卒中学会もそれを目指しています。

2005年に脳の血管に詰まった血栓を点滴で溶かすことができる遺伝子組換え型組織プラスミノゲン活性化因子(recombinant tissue plasminogen activator: rt-PA、アルテプラザーゼ)という薬剤がわが国でも使用できることになりました。発症後4.5時間以内の脳梗塞にのみ適応があります。適切に使用すると劇的な効果を示す場合もありますが、一方で、出血を起こしかえって症状を悪化させることもあり、日本脳卒中学会はこの薬剤を使用できる施設や医師の基準(適正使用指針)を定め運用してきました。

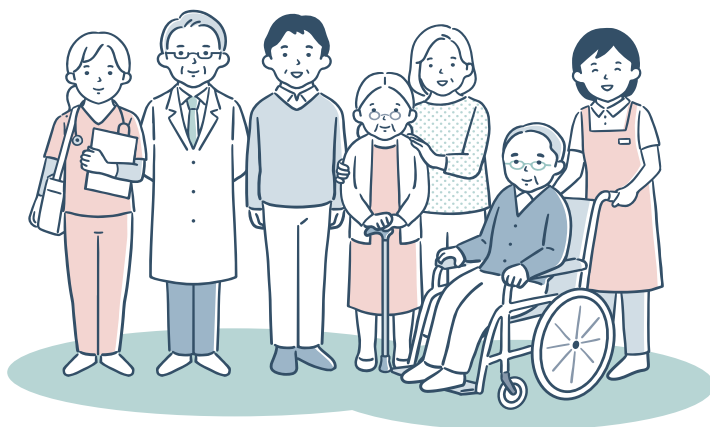
この薬剤による治療を24時間365日可能な施設がどこであるかを一般市民や医療従事者にも分かるようにするために、日本脳卒中学会は「一次脳卒中センター」として認定し、公表することになり、当院はその認定を受けています。

当院ではt-PA投与はもちろんですが、24時間365日血栓回収療法を行うことも可能です。脳梗塞

は血管に血栓が詰まって起こる病気です。太い血管が閉塞した場合には広範囲に脳梗塞となり、重篤な症状を引き起こします。このため太い血管が閉塞した場合にカテーテルで血栓を除去するのが血栓回収療法です。この治療もt-PAと同様に早期脳梗塞にのみ適応となります。

PSCに認定されていることに加え、①この血栓回収治療を24時間行えること、②血栓回数治療実績が12例/年以上あること、③脳血管内治療専門医が常勤で3名以上いること、そして④脳卒中相談窓口を設置すること、以上の条件を満たしていることから、当院は東播磨圏域において唯一PSCコア施設に認定されています。

当院ではt-PAと血栓回収療法に24時間365日対応することで脳梗塞後遺症をできる限り減らし、発病後のADLを維持することに努めています。



手術前の禁煙ってなんのため？

手術室 看護師 西宮 由結

「手術をするので禁煙しましょう」という言葉を、手術を控える患者さんであれば一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか？手術前に病室に訪問に行くと「タバコは止められへんかった、なんでやめないとあかんの？」と質問されることもあります。どうして禁煙が必要なのか、喫煙をしていたら手術にどのように影響するのか具体的にわからない人も多くいると思います。そこで今回は手術前の禁煙の必要性について簡単にご説明します。

手術前の喫煙は、痰が増え肺炎を起こすリスクや骨がくっつきにくくなるリスク、酸素が取り込みにくくなることによる傷の治りが遅いリスク、血圧上昇など様々なリスクが上昇します。また、手術後の痛みも強く感じやすいといった研究結果もあります。様々な術中術後の合併症リスクが増えることによって入院期間の延長を余儀なくされることもあります。

それらのリスクを減らすためにも手術前からの禁煙がとても重要になってきます。特に長期喫煙している患者さんや禁煙の継続が難しい患者さんは、まず看護師にご相談下さい。



おくすりの窓口負担が変わります

～「OTC類似薬」ご存知ですか？～

薬剤部長 高橋 淳子

“OTC”とは、Over The Counterの略で、処方箋がなくても薬局やドラッグストアでカウンター越しに購入できる薬を「OTC医薬品」と言います。一方、医療現場で使う医療用医薬品の中でもOTC医薬品と同様の有効成分を持つ医薬品があり、「OTC類似薬」と呼ばれています。

近年政府は医療財政を抑える目的の一環として、保険外となったOTC類似薬、つまりOTC医薬品を購入して自分で手当てをする“セルフメディケーション”という方針を推進しています。

今の段階ではまだ制度の詳細がはっきりと固まっておりませんが、すべてのお薬が一律に保険適応外になるわけではなく、抗アレルギー薬、解熱鎮痛薬、便秘薬、胃痛・胃酸を抑える薬などが想定されています。またお子様や難病・慢性疾患をお持ちの方、低所得層の方、入院中の方などそれぞれに応じた免除や配慮がなされる予定です。

このよう話を耳にされ、皆さんの中には疑問や不安を抱えていらっしゃる方もおられることと思います。

我々薬剤師はお薬の専門家として皆さんと一緒に考えるパートナーです。

疑問や不安があれば、当院北館1階にございます。

薬局の窓口にていつでもお気軽にご相談くださいませ。





二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

7月(文月) / ふみづき

そろそろ梅雨が明け、本格的な夏が感じられる7月。
七夕に書物を干す行事 文披月(ふみひろげづき)が文月に一。

十節気
げし
夏至

7/2～6(第三十候) 半夏生／はんげしょうず

涼し気な「半夏生」が美しい頃。この夏の無事を願い、各地で「山開き」、「海開き」が行なわれます。古来、霊峰は神々が宿る場所として、山伏や修行僧のみが入山を許されました。しかし、庶民も山に登りたい願いから江戸時代、一定期間(夏)登山が許され、現在の行事へと引き継がれました。



十一節気
しょうしょ
小暑

7/7～11(第三十一候) 温風至／あつかぜいたる

梅雨のどんよりした雲、吹く風も熱さを増します。夏の風物詩「風鈴」。各地の神社で行なわれる「風鈴祭り」チリーン♪と涼しい音色が。中国で魔除けとして吊るされた鐘がルーツ。日本独自で発展しました。



梅雨明け前の集中豪雨の頃。
セミの声もチラホラと。

7/12～16(第三十二候) 蓮始開／はすはじめてひらく

夜明けと共に咲き、昼過ぎにはしぼむサイクルを3日間、4日で花は散る蓮の花。「泥より出でて泥に染まらず」泥より咲く美しい花は、仏教では清らかさの象徴。おなじみの蓮根、実、葉、茎などほとんどすべてが食用、薬用になるそうです。



7/17～22(第三十三候) 鷹乃学習／たかすなわちわざをならう

鋭い眼差しにかぎ型のくちばし、「鷹」とは、タカ目とハヤブサ目の鳥の総称で、トビ、ハヤブサ、オオタカなどの30種類が生息。「夢の続き」という花ことばを持つ「朝顔」。平安時代から親しまれ、江戸時代は突然変異の珍しい変異朝顔が大流行。



十二節気
たいしょ
大暑

7/23～27(第三十四候) 桐始結花／きりはじめてはなをむすぶ

7月の旧称である「文月」と、ふ(2)、み(3)のふたつの「ふみ」がつく7/23は、「ふみの日」です。梅雨明けの頃から立秋までの期間に送る「暑中見舞い」。夏をあしらった、素敵なハガキ、封書を選び、親しい方へ暑中見舞いのお便りはいかがでしょう。



今年の土用の丑の日
は7月26日。価格も
少し抑えめとのう
れしいニュース♪

7/28～8/1(第三十五候) 土潤溽暑／つちうるおうてむしあつし

地面の湿気が増し、むせかえる熱気が立ち登る頃。江戸時代に夏バテ防止の栄養補給飲料として冷たい「甘酒」が売り歩かれ夏の季語に。「飲む点滴」として最近注目され、ブドウ糖、アミノ酸、ビタミンなどを豊富に含みます。



ゴーヤカーテン

夏の強い日差しを、涼し気な葉で、さえぎってくれる「ゴーヤ」♪一時のグリーンカーテンブームは最近はおさまってしまった印象があります。年々夏の暑さは厳しく、夏に植物を育てることが中々むずかしくなってきましたが、ゴーヤは強健で育てやすく、成長も早い、栄養価の高い、実も収穫できるといういいことづくめ!大きなポイントは、苗を植えて、葉が5枚の時点で摘心(成長点をカット)を2回繰り返すことで、葉、実の数が倍増します。今期は植えそびれてしまった方も、来年は是非お試しください ^_^



外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高 橋〈顔〉	大 西(宏)	久 我	茶 谷	前 岡
	午後	高 橋〈血〉	大 西(宏)〈血〉	久 我	茶 谷	前 岡
2診 【予約制】	午前	前 岡	岡 本	角 田	富士井	山 本(健)
	午後	前 岡	岡 本	角 田	吉 村	山 本(健)
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐 藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐 藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	吉 村	担当医〈血〉／麻酔科 鈴木
	午後	脊髄外来山 本(慎)	脊髄外来山 本(慎)	脊髄外来山 本(慎)	平 林	脊髄外来山 本(慎)
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 石 田	—	脳神経内科 赤 谷	てんかん 第4週 田 村	脳神経内科 第1・3週 阿 部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 石 田	—	—	てんかん 第4週 田 村	脳神経内科 第1・3週 阿 部 第2・4・5週 小坂田〈FUS〉

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30 ※毎週金曜日9:20～ 6診 麻酔科 鈴木 (2026.7)
※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.289

早川内科循環器科医院

院長：早川 正徳

【認定資格・所属学会】日本内科学会総合内科専門医、日本医師会認定産業医、医学博士

【診療科目】内科・循環器内科・小児科

【住 所】三木市大村142-7

【電 話】0794-89-0017



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00 発熱外来は終了30分前まで	○	○	○	○	○	○	／
16:00～19:00 木・土(14:00～17:00) 発熱外来は終了30分前まで	○	○	○	14:00 17:00	○	14:00 17:00	／

休診日：日曜、祝日

楠本医師：月曜午後、火曜午前、水曜午後、木曜 土岐医師：金曜午後、土曜午後



早川院長からのメッセージ

循環器を中心に生活習慣病治療に携わり、地域の方が安心できる医療の提供を目標にしています。近隣医療機関との連携を密接にしています。

No.290

大槻耳鼻咽喉科

院長：大槻 晃直

【認定資格・所属学会】日本耳鼻咽喉科学会専門医、海外鉄道研究会会員

【診療科目】耳鼻咽喉科

【住 所】明石市松の内2-4-10 ユタカ第1ビル2F

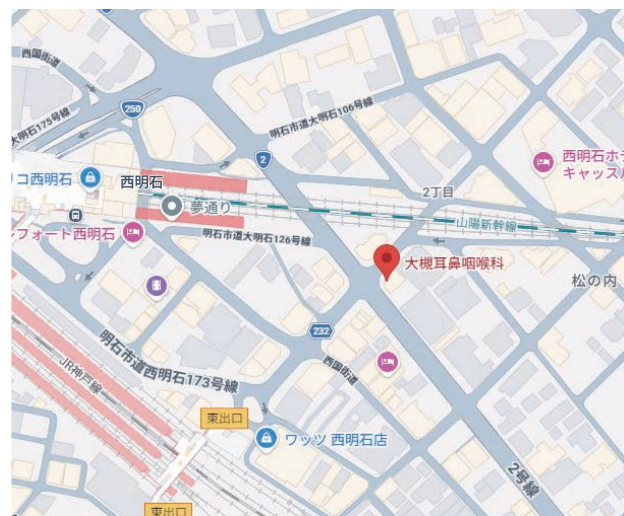
【電 話】078-924-2033



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:15	○	○	○	／	○	△	／
15:30～19:00	○	○	○	／	○	／	／

休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日

△土曜日は9:00～13:15までの診療です。(7月～9月の土曜日は12:15まで)



大槻院長からのメッセージ

親切・ていねいをモットーにしています。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者：理事長・院長 大西 宏之



ホームページ